

たつの市の教育の基本理念

豊かな人間性を育み、創造力あふれる子どもを育てる

(第2次たつの市総合計画より)

<児童期>

自覚的な学び

育てたい力

確かな学力

- ★生きて働く知識・技能
- ★思考力・判断力・表現力等
・コミュニケーション能力
- ★学びに向かう力・人間性等
・主体的に学習に取り組む態度

生きる力

豊かな心

- ★自らを律する力
- ★主体性・自立心
- ★他者と協調する力
- ★感動する心
- ★ふるさとを大切にする心
- ★人権感覚・道徳性

健やかな体

- ★たくましく生きるための健康や体力
- ★自ら健康であろうとする態度

育てたい力

学ぶ力

- ★思考力の芽生え
- ★自然との関わり・生命尊重
- ★数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚

生きる力の基

かかわる力

- ★協同性
- ★社会生活との関わり
- ★言葉による伝え合い
- ★豊かな感性と表現

生活する力

- ★健康な心と体
- ★道徳性・規範意識の芽生え
- ★自立心

<5領域を通して>

<幼児期>

学びの芽生え

幼児・小学校教育
接続期カリキュラム

スタートカリキュラム

(入学後、約2週間)

接続シート

アプローチカリキュラム

(主に5歳児のカリキュラム)



幼児・小学校教育
接続期カリキュラム

概要版

平成29年3月に保育所保育指針、幼稚園教育要領、幼保連携型認定こども園教育・保育要領、小学校学習指導要領、中学校学習指導要領の改訂により、学校教育（幼児期から小学校・中学校・高等学校まで）で育成を目指す資質・能力を「知識及び技能」「思考力・判断力・表現力等」「学びに向かう力、人間性等」と明確化し、系統的に育むことになりました。また、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」が具体的に示され、それを小学校と共有することで保育所・幼稚園・認定こども園とのより円滑な接続が推進されます。

たつの市では、小学校との連携はそれぞれの地域や校区毎に行っていますが、今後更なる円滑な接続のため、平成28年度から市内の公私立保育所・認定こども園、公立幼稚園・小学校の先生方の参画を得、それぞれの立場から子どもたちの実態を話し合い、お互いの教育について共通理解を図り、『幼児・小学校教育接続期カリキュラム』を策定しました。

本カリキュラムが、本市の第2次総合計画に掲げる『ひとつづくりへの挑戦』の第一歩として様々な教育現場で活用され、未来を担うかけがえのない子どもたちが集団教育の中で、『豊かな人間性を育み、創造力あふれる子どもに育つ』ことを願っております。

平成30(2018)年3月

たつの市



<接続期カリキュラム>

アプローチカリキュラムとスタートカリキュラムを総合して言います。カリキュラムとは、どこで教育を受けても、一定の水準の教育を受けられるよう各学校園で編成された教育内容です。

<アプローチカリキュラム>

幼児期における遊びの中での学びが、小学校の学習や生活に生かすことができるように工夫された保育所・幼稚園・認定こども園の主に5歳児のカリキュラムです。高校までつながる以下の資質・能力を育むように考えられています。

<スタートカリキュラム>

保育所・幼稚園・認定こども園から入学した子どもが、小学校の生活や教科にスムーズに適應していくことを目指して編成されたカリキュラムです。小学校生活のスタート時には、子どもは主体的な学び手であり、“ゼロからのスタートでない”と捉えています。

<幼児教育において育みたい資質・能力>

- ★知識及び技能の基礎
基本的な生活習慣、身体的技能や表現力の基礎、言葉の理解、気付き・発見の喜び、規則性・法則性・関連性等の発見 等
- ★思考力、判断力、表現力等の基礎
言葉による伝え合い、振り返り、自分なりの表現、他児の考えに触れて新しい考えを生み出す喜び、試行錯誤、予想・予測・分類・確認 等
- ★学びに向かう力、人間性等
情緒の安定、自信、思いやり、相手の気持ちの受容、好奇心、探究心、葛藤・自分への向き合い・折り合い、話し合い・目的共有・協力、美的感覚、自然事象や社会事象への関心 等

小学校教育に生かす



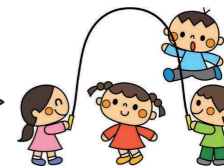
保育所（園）・幼稚園・認定こども園での遊びが小学校教育につながる



<保育所（園）・幼稚園・認定こども園>での遊び

<小学校教育につながる学びの基礎>

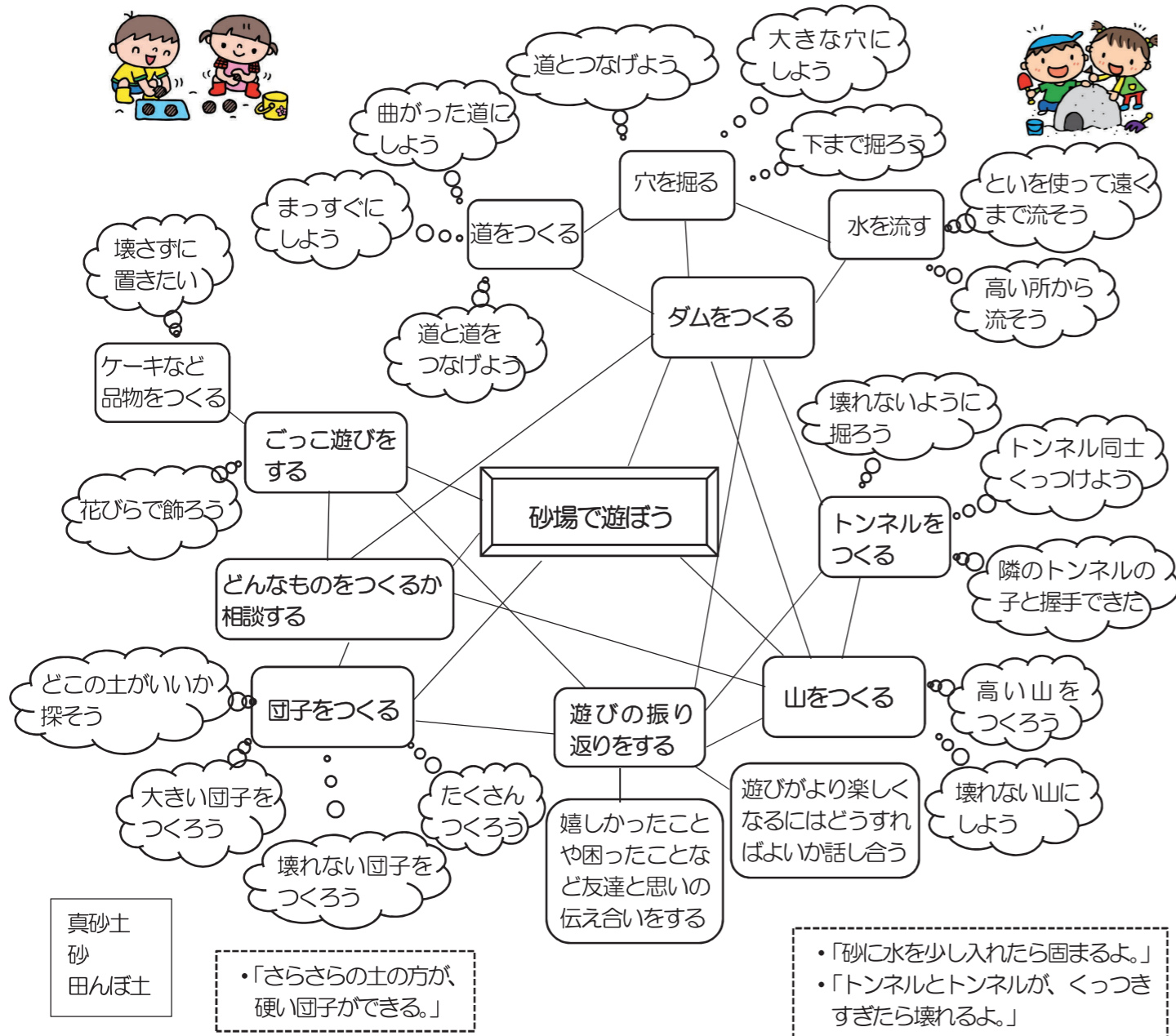
<小学校教育での学び>



□…幼児の活動 ☁…幼児のつぶやき

⋯…幼児の気づき・発見

・「穴に水を入れたのに、水がなくなった。」
 ・「高い所から流したら（水の流れが）速い。」
 ・といのつなぎ方で水がうまく流れる。



【砂場遊びを通して気付いたこと】

《ダムをつくる場面》

・といのつなぎ方(ジョイントの部分の重ね方で水が漏れたり、漏れなかったりする)で水がうまく流れたり、流れなかったりする。

↓

水が下に流れる方のといを下に重ねる。

・高い所から水を流した方が流れが速い。

↓

角度(傾斜)によって速さが違う。(水流)

《団子をつくる場面》

・粒子が細かい方が固まりやすい。

・水と土の量で硬さが違う。

・土の種類や性質が分かる。(真砂土・砂・田んぼ土)

・大きさが違う団子をつくる。

↓

大小の違いを認識する。

・たくさんつくる。

↓

数を数えながら数と物とを対応する。

《ごっこ遊びをする場面》

・壊さずに置いておきたい。

↓

看板などで気持ちを文字で表現する。



教科	育みたい力
生活科（1年） 「なつだ あそぼう」	<ul style="list-style-type: none"> 砂場の砂や砂場の周りの土を使って、遊ぶ方法を考えたり、遊びをさらに楽しくしようと工夫したりすることができる。 個人の活動から集団の活動になるように、子ども同士の対話の機会を増やすことで、気づきの質を高めることができる。
図工（1年） 「すなやつちとなかよし」	<ul style="list-style-type: none"> 全身の五感を動かせ、身近な材料や用具を工夫しながら創造的に表現することができる。 造形的なおもしろさや楽しさに気づき、他者の作品とふれあう中で自分の見方や感じ方を広げることができる。
国語（1年）	<ul style="list-style-type: none"> 体験して見つけたことや考えたことを先生や友だちに進んで伝えることができる。 経験したことを報告する文章や観察したことを記録する文章などを書くことができる。 同じ体験をする中で、尋ねたり、応答したり、グループで話し合ったりして考えを一つにまとめることができる。
算数（1年） 「かすとすうじ」 「おおきさくらべ」	<ul style="list-style-type: none"> ものの個数を数える活動を通して、数の意味について理解し、数を用いることができる。 大きさを比較する活動を通して、量とその測定についての理解の基礎となる経験を豊かにすることができる。
道徳（1年）	<ul style="list-style-type: none"> 友だちと仲よく助け合うことで、協力することの大切さに気づき、協力し合うと大きな喜びにつながることを実感できる。
生活科（2年） 「うごくおもちゃをつくらう」	<ul style="list-style-type: none"> コースの傾斜によって転がり方が異なることに気づき、転がすおもちゃを工夫することができる。 自分なりに工夫したおもちゃのよさに気づき、そのよさを他者に伝えようとするすることができる。



幼児期の教育は、「環境を通して」行うものであることを基本とし、遊びを通して総合的に育ちます。幼児にとって「遊び」は重要な「学習」です。遊びを通して発見したこと、培った力、友達と気持ちを共有したことなどが、更なる意欲につながるのです。資質・能力は個別に取り出して指導するものでなく、活動全体によって一体的に育みます。小学校教育では、学びがゼロからスタートするのではなく、幼児教育で身に付けたことを生かしながら教科等の学びにつなぎ、子どもたちの資質・能力を伸ばしていきます。